

## 新システムに関するヒアリング調査について

### 1. 目的

- 新システムを導入、利用する側のニーズ、シーズについてヒアリングを実施し、新システムの社会性、経済性の検討に資することを目的とする。

### 2. ヒアリングの基本的な考え方

#### (1) 品質別電力供給システム

- ・ 新システム技術評価分科会で検討した電力品質メニューを基に、需要家が求める品質についてヒアリングを実施し、品質別電力供給システムが供給する電力品質の検討に資する。

#### (2) 分散型電源の統合制御システム

- ・ 新システム技術評価分科会で検討した統合制御システムモデル等を基に、今後、導入が考えられる利用方法について分散型電源設置者等にヒアリングを実施し、新システムの具体的な検討に資する。

#### (3) 系統制御システム

- ・ 新システム技術評価分科会で検討した系統制御システム（柔軟連系システム）を基に、電力会社における設備対策の実態、研究状況等のヒアリングを実施し、新システムに関する技術対策等に資する。

### 3. ヒアリング対象

#### (1) 品質別電力供給システム

- ・ ヒアリング先は、システムの導入の可能性が高い地域再開発地域への進出が予想されるオフィスビル、自治体、設計事務所、建設業等の関係団体等とする。

#### (2) 分散型電源の統合制御システム

- ・ ヒアリング先は、統合制御システムの制御事業体として考えられるオンサイト事業者、新エネルギーに関する関係団体、支援団体等とする。

#### (3) 系統制御システム

- ・ 電力会社

### 4. 実施期間

- 平成 15 年 2 月～3 月

### 5. ヒアリング内容（詳細）

- 別紙 1～3

## 電力供給システムに関するヒアリング調査

### 1. 調査の目的

- 新システム技術評価分科会で検討した電力品質メニューを基に、需要家が求める品質についてヒアリングを実施し、品質別電力供給システムが供給する電力品質の検討に資する。

### 2. 調査項目

#### (1) 需要家サイドにおける電力品質維持対策の実態

現在の対策の状況と問題点など

#### (2) 需要家における電力品質に関するニーズの把握

要求する品質レベルと用途

品質別電力供給パターン、ニーズ

購入希望価格

#### (3) 再開発地域における品質別電力供給システムの普及の見通し

品質別電力供給を行うことのメリット（ユーザとして他者（ビル外）から品質別電力供給をしてもらうことへのメリット等）

品質別電力供給が入居企業誘致に際してのアピールポイント

### 3. ヒアリング対象

業 種		ヒアリング対象（案）
事務所	一 般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本電設工業会</li> <li>・ 社団法人 日本ビルエネルギー総合管理技術協会</li> <li>・ 大手ビル管理会社</li> <li>・ 設計事務所</li> <li>・ 建設業者</li> </ul>
	銀 行	・ 都市銀行店舗管理部門（本店、支店）
	電算センター	・ 検討中
	官公庁	・ 検討中
店 舗		・ 大手デパート設備部門
ホテル		・ 大手都市ホテル設備部門

## 4．調査内容

### (1) 需要家サイドにおける電力品質維持対策の実態

現在の対策の状況と問題点など

- ・ 電力品質補償機器・システムの導入状況（UPS、非常用発電機など）
- ・ 電力品質により問題の生じた経験の有無
- ・ 電力補償機器・システムの問題点（コスト、使い勝手、信頼性、メンテナンス性等）
- ・ 現在行っている品質維持対策に、いくらくらいかけているか（設備投資、ランニングコスト）
- ・ 電力供給支障が生じた場合の障害およびその想定被害金額

### (2) 需要家における電力品質に関するニーズの把握

要求する品質レベルと用途

品質別電力供給パターン

- ・ 電力品質のレベル別のニーズ（資料の電力品質一覧）

購入希望価格

- ・ 電力品質のレベル別購入希望価格（現行電力価格からの上乗せ幅）
- ・ 現行対策設備との比較感

### (3) 再開発地域における品質別電力供給システムの普及の見通し

需要家側

- ・ 需要家において品質別電力供給を行うことのメリット（ユーザとして他者（ビル外）から品質別電力供給をしてもらうことへのメリット等）

事業者（推進者）側

- ・ 品質別電力供給事業の可能性等（市場拡大、入居企業誘致のアピールポイント、不動産資産向上など）

### (4) その他

需要家の諸元

営業（事業）種別、竣工年、延べ床面積、契約電力、受電方式など

その他の電力品質に関するニーズ

非常用発電機の省略、低品質でも低価格供給など

**(参考) 電力品質要件**

電力品質分類	高品質 A	高品質 B			高品質 C	D C	標準品質
		B1	B2	B3			
電力品質の特徴	無瞬断であり、波形レベル(電圧不平衡、高調波の補償を含む)での補償を行う品質	瞬断時間が15msec以下に限定される品質(*1)			停電時間が1分程度に限定される品質	直流	現状の系統の品質
主な用途	汎用コンピュータ、製造設備、通信設備、医療機器など	小容量コンピュータ、製造設備、高圧放電ランプなど			重要照明、換気・衛生ポンプ、エレベータ、製造設備など	直流仕様小容量コンピュータなど	一般照明、空調など
業種	事務所、病院、官公庁、大学/学校、通信、放送、工場	事務所、工場			事務所、工場	事務所、官公庁	すべての業種
瞬低					×(*4)		×
停電			(*3)	×			×
バックアップ時間	安全に設備をシャットダウンできる時間以上	200msec以上(*2)			停電時間が1分程度	安全に設備をシャットダウンできる時間以上	×
<p>○：完全に補償を行う    ◐：補償を行うが完全ではない    ×：補償の対象とはしない</p> <p>(*1) 用途負荷の瞬低耐量が15msec以上のために15msecを閾値にした。  (*2) 瞬低の80%が瞬低時間200msec以下なので200msec程度で十分。  (*3) 分散型電源が停止中は補償不可。  (*4) 瞬低補償を行うには少なくとも高速遮断器が必要。</p>							

## 分散型電源の統合制御システムに関するヒアリング調査

### 1. 調査の目的

- 新システム技術評価分科会で検討した統合制御システムモデル等を基に、今後、導入が考えられる利用方法についてヒアリングを実施し、新システムの具体的な検討に資する。

### 2. 調査項目

- (1) 分散型電源の普及促進への取組み状況
- (2) 分散型電源の遠隔監視、制御等の実態及び課題、問題点
- (3) 分散型電源の新しい利用方法等(アイデア等)

### 3. ヒアリング対象

業 種	ヒアリング対象(案)
ガス会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ガス(株)</li> <li>・大阪ガス(株)</li> <li>・(社)日本ガス協会</li> </ul>
電力系オンサイト事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイエナジー 他</li> </ul>
オンサイト事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネサーブ 他</li> </ul>
新エネルギー関係団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電協会</li> <li>・風力発電事業者協会</li> <li>・燃料電池各種団体</li> <li>・新エネルギー財団</li> </ul>
特定規模電気事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネット</li> <li>・ダイヤモンドパワー</li> </ul>

### 4. 調査内容

#### (1) 分散型電源の普及促進への取組み状況

- ・ 各種分散型電源普及のための取組み
- ・ 普及促進への課題

#### (2) 分散型電源の遠隔監視、制御等の実態及び課題、問題点

分散型電源の遠隔監視、制御のハード面、ソフト面

- ・ 分散型電源の遠隔監視・制御技術の実態
- ・ これらの技術の基盤となる通信・制御方式及びコスト等の実態

分散型電源の遠隔監視、制御に関する課題、問題点

### **(3) 分散型電源の新しい利用方法等(アイデア等)**

- ・ 現在、統合制御WGで検討しているコンセプトに関する意見
- ・ 分散型電源の新しい利用方法等(アイデア等)に関する意見
- ・ 提供可能なアンシラリーサービス

## 系統制御システムに関するヒアリング調査

### 1. 調査の目的

- 新システム技術評価分科会で検討した系統制御システム(柔軟連系システム)を基に、電力会社における設備対策の実態、研究状況等のヒアリングを実施し、新システムに関する技術対策等に資する。

### 2. 調査項目

- (1) 分散型電源導入による電圧管理等の系統影響の問題
- (2) 電圧管理をはじめとした系統に関する技術開発の動向(独自の取組み状況)
- (3) 今後の対策の考え方、方向性

### 3. ヒアリング対象

業 種	ヒアリング対象(案)
電力会社及び関係団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電気事業連合会</li><li>・ 電力会社(中3社+地方4社程度)<ul style="list-style-type: none"><li>・ 中3社(東京、関西、中部)</li><li>・ 地方3社(北海道、東北、中国、九州)</li></ul></li></ul>

### 4. 調査内容

- (1) 分散型電源導入による電圧管理等の系統影響の問題
  - ・ 分散型電源の普及により想定される問題点
- (2) 電圧管理をはじめとした系統に関する技術開発の動向
  - ・ 各電力会社において独自に取り組んでいる技術開発状況
  - ・ これらの開発に当たっての課題事項
- (3) 今後の対策の考え方、方向性
  - ・ 現在、統合制御WGで検討しているコンセプトに関する意見
  - ・ 今後めざすべきシステムの方向性および検討に当たっての留意事項 等